DAIHATSU

01999-B2279

MOVE

フロント シート リフト

取扱説明書

ご使用の前によくお読みください

DAIHATSU

このたびは、ダイハツ車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は、ムーヴ フロント シート リフトの
専用機構について説明しています。
ご使用の前に必ずお読みください。
なお、基本的な内容は同梱の
ムーヴ取扱説明書を参照ください。

必読！ドライバーのみなさまへ

特に重要な事柄です。必ず読んでから操作、あるいは作業に取りかかってください。これらを守らないと思わぬけがや事故につながったり、車を損傷するおそれがあります。

安全についての表示マーク・その他の表示マーク

本文中に記載されているマークの意味は下記の通りです。

⚠警告	**警告事項を守らないと、生命にかかわるけが、あるいは重大なけがにつながるおそれがあります。**
⚠注意	**注意事項を守らないと、けがや事故、車の破損につながるおそれがあります。**
アドバイス	**お車のために守っていただきたい事項です。**
オプション別装備	**オプションにより、装備の有無の異なる項目です。**

ご愛車のために

- 車種によって取り扱い方法が異なる場合は、車両型式やエンジン型式を確認したうえで操作を行ってください。
- 保証および点検・整備については、別冊の「メンテナンス ノート」に記載していますのでお読みください。
- ダイハツ サービス工場で取り付けられた装備の取り扱いについては、添付されている取扱説明書をご覧ください。
- お車をゆずられる際は、次のオーナーのために必ず本書を車に付けておいてください。
  - 車の仕様変更により、本書の内容やイラストがお車と一部異なる場合がございますがご了承ください。
  - 本書は別冊の「メンテナンス ノート」とともに、いつもお車に保管しておいてください。
  - ご不明な点は、ご購入先のダイハツ サービス工場（営業スタッフ）におたずねください。

目　　次

必読! ドライバーのみなさまへ　3

車を運転する前に---------- 4
車を運転するにあたって---------- 5

フロント シート リフトの取り扱い　7

シート リフト ---------- 8
車いすの収納 ---------- 39
非常用工具---------- 42
ヒューズの点検と交換 ---------- 43

定期点検整備　47

さくいん　51

MEMO

安全のためにぜひ守りましょう

必読! ドライバーのみなさまへ

ご使用の前に、特に守っていただきたいこと、
知っておいていただきたいことをまとめています。

	警告に値する項目です
	注意に値する項目です

車を運転する前に ----------4
車を運転するにあたって----------5

車を運転する前に

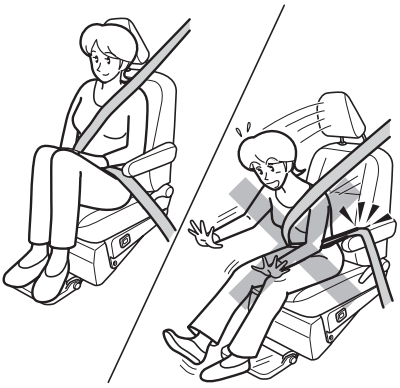
フロント シート リフトで乗降するときは

- 操作は、必ず介添えの方が行ってください。
- 平坦地で車の通行が少ない、安全な場所に停車して乗降してください。
  坂道や交通量の多い道路、平坦でない道路や舗装されていない所、狭い所などでの乗降は、乗降者の足元が不安定になり大変危険ですので、絶対に行わないでください。
- 強風時、または傾斜地などで助手席側ドアを開けた状態で、シート リフトを車体の外側に出していると、助手席側ドアが動きシートおよび乗降者に当たるおそれがありますので注意してください。
- 乗降するときは、駐車ブレーキを確実にかけ、シフト レバーを[P]レンジに入れて、エンジンを停止させてください。

車を運転するにあたって

シート リフト乗員もシートベルトを着用してください

- 走行する前に必ず運転者、同乗者とも全員がシート ベルトを着用してください。（リヤ シートでも必ずシートベルトを着用してください。）
- 走行時は、シート リフト乗員も必ず標準装備のシート ベルトを着用してください。また、オプション設定の胸部固定用ベルト（別売）を、シートベルトの代用として使用しないでください。
- シート ベルトは正しく着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶおそれがあり危険です。必ず正しい着用方法を身に付けてください。



半ドア状態のまま走行しないでください

走行する前に助手席シート ベルトを着用し、半ドア警告灯が消灯してすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。
助手席シート ベルトを着用せずに半ドア状態のままでは、シート リフトが思わぬ作動をするおそれがあり危険です。

シート リフトにチャイルドシートを取り付けないでください

シート リフトやチャイルド シートが破損したり、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

MEMO

フロント シート リフトの取り扱い

フロント シート リフト専用の
取り扱い方法について説明しています。

■ シート リフト

シート リフトの取り扱いについて ----8
各部の名称 ---------- 12
リクライニング調整---------- 13
ヘッド レストの調整 ---------- 13
折りたたみ式フット レスト ------- 14
アーム レスト---------- 14
シート リフト操作スイッチ------- 15
リモコン スイッチ---------- 15
シート リフトの使いかた---------- 19
非常時の収納方法---------- 30
チャイルド シートの取り付け----- 38

■ 車いすの収納

車いすの収納について ---------- 39
収納できる車いすの寸法
（折りたたみ時） ---------- 39
車いす固縛ベルト ---------- 40
車いす収納方法---------- 40

■ 非常用工具

収納場所---------- 42

■ ヒューズの点検と交換

ヒューズの点検と交換 ---------- 43

シート リフト

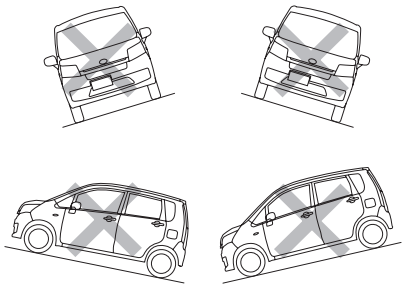
シート リフトの取り扱いについて

⚠警告

- シート リフトを車体の外側に出した状態では、絶対に走行しないでください。
- 走行する前に助手席シート ベルトを着用し、半ドア警告灯が消灯してすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。
  助手席シート ベルトを着用せずに半ドア状態のままで操作スイッチを操作するとシート リフトが動き、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 走行時には、シート リフト乗員も必ず車両のシート ベルトを着用してください。オプション設定の胸部固定用ベルト（別売）は、シート ベルトの代用として使用しないでください。

⚠注意

- 平坦地を選んで乗降してください。坂道や傾斜地などでの乗降は、乗降者の足元が不安定になり大変危険です。



- 介添えの方は、必ず駐車ブレーキをかけた状態を確認し、シフト レバーを[P]レンジに入れて、エンジンを停止させて操作してください。また、車両周辺の交通に十分注意して操作してください。

シート リフト

⚠注意

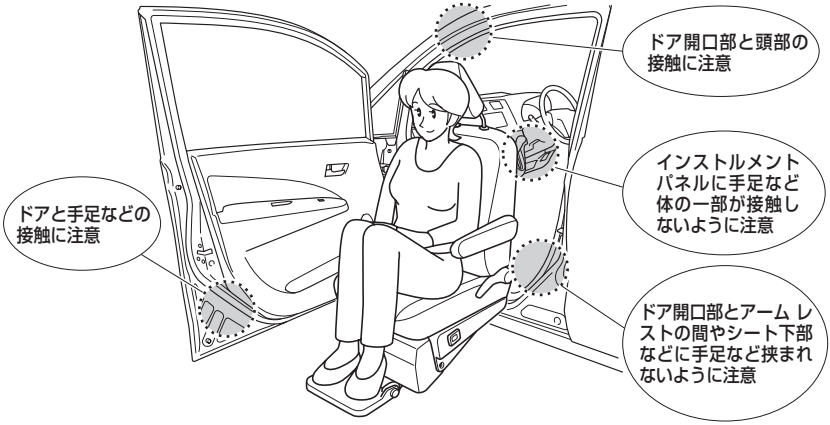
- シート リフトは、シートの回転により下肢が移動するため、ひざが図のように曲がらなければ使用が困難になりますので注意してください。

- シート リフトは一人用で、最大昇降能力は 100kgです。危険ですので、シートに一度に二人以上乗車して使用しないでください。シート リフトが故障する原因になります。

シート リフト

⚠注意

- シート リフトを操作するときは、乗降者の頭や手足など体の一部がドア開口部やインストルメント パネルなどに当らないように注意してください。

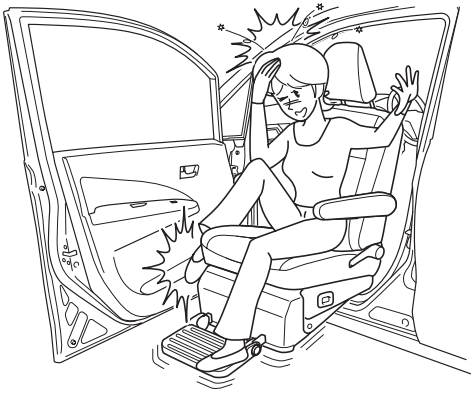


- 助手席側ドアを閉めるとき、ドアとアーム レストの間に腕を挟まれないように注意してください。
- シート リフト乗員がシート ベルトを装着したままではシート リフトは作動しません。必ずシート ベルトを外してから操作してください。
- エンジンを停止させた状態で、10 回以上連続で作動させないでください。バッテリーあがりの原因となります。
- 強風時、助手席側ドアを開けた状態で、シート リフトを車体の外側に出していると、助手席側ドアが動き、シートおよび乗降者に当たるおそれがありますので注意してください。
- シート リフトを車外に出したまま、放置しないでください。特に炎天下、雨天、寒冷時などで放置するとカバー類の変形やモーターなどが故障するおそれがあります。

シート リフト

⚠注意

- フット レストの上で立ち上がらないでください。フット レストが破損したり、フット レストから落ちてけがをするおそれがあります。
- 乗降者の頭部や手足などがドア開口部などに接触しないように注意してください。



アドバイス

- フロント シート リフトの助手席シートは、標準車のシートと形状、および仕様が異なります。
- フロント シート リフトの助手席シートは、室内でのシート スライド調整はできません。

シート リフト

各部の名称

シート リフト

リクライニング調整

▼調整を行う前に

⚠警告

- リクライニング調整は必ず運転前に行い、調整後は背もたれを軽くゆすり、背もたれが確実に固定されたことを確認してください。背もたれが固定されていないと走行中に背もたれが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

▼操作方法

リクライニング レバーを引き上げ、背もたれの角度を調整します。

⚠注意

- リクライニング レバーを引き上げるときは背もたれにあまり力をかけないでください。背もたれに強い力がかかっていると急に背もたれが倒れ、けがをするおそれがあります。

ヘッド レストの調整

▼調整を行う前に

⚠警告

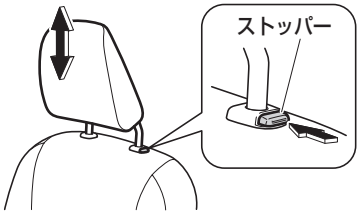
- ヘッド レストを外した状態で走行しないでください。衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。走行前に必ず取り付け、ヘッド レスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。
- ヘッド レストを前後逆に取り付けないでください。いざというとき、効果を発揮しません。

▼調整方法

そのまま持ち上げて調整します。

下げるときはストッパーを押しながら「カチッ」という音がする位置で固定してください。

取り外すときはストッパーを押しながら引き抜きます。



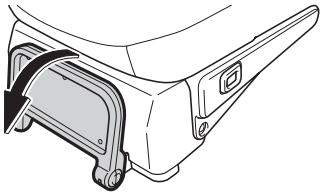
シート リフト

折りたたみ式フット レスト

シート リフトを上昇、下降させるときに、乗降者のフット レストとして使用します。フット レストはシート前側下部に折りたたんで収納されています。

▼使用方法

前に倒して使用します。

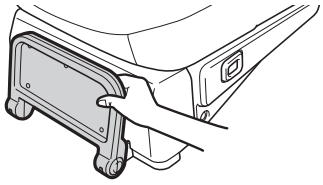


⚠注意

- フット レストの上で立ち上がらないでください。フット レストが破損したり、フット レストから落ちてけがをするおそれがあります。
- 折りたたみ式フット レストを操作するときは、必ず先端部を持って操作してください。回転部近くを持つと、回転部で指などを挟み、けがをするおそれがあります。

アドバイス

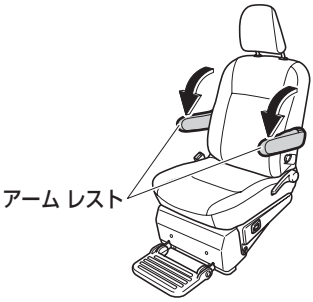
- フット レストは片手で操作することができます。



アーム レスト

▼使用方法

前に倒して使用します。



⚠注意

- シート ベルトを着用するときは、腰部ベルトが必ずアーム レストの下側を通るように正しく着用してください。
- 助手席側ドアを閉めるとき、ドアとアーム レストの間に腕を挟まれないように注意してください。
- ハンドル操作時に、運転者の左ひじが、助手席のアーム レストに当たることがありますので注意してください。
- 背もたれを前に倒すときは、アーム レストを起こした状態にしてください。アーム レストを倒したまま、背もたれを前に倒すと、アーム レストがシート リフトの座面に当たり、損傷するおそれがあります。

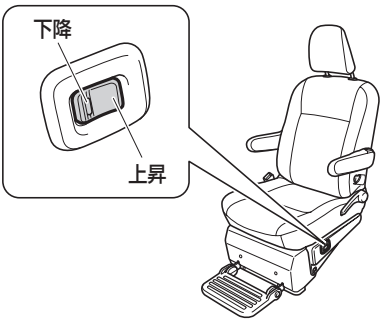
アドバイス

- シート ベルトは、アーム レストを起こした状態にすると、容易に着用することができます。

シート リフト

シート リフト操作スイッチ

シート リフト操作を行うときに使用します。



▼操作方法

スイッチを押している間、作動します。

- シートを下降させるときは、スイッチの前側を押し続けます。
- シートを上昇させるときは、スイッチの後側を押し続けます。

スイッチから指を離すと、その位置で止まります。

⚠注意

操作スイッチでシート リフトを操作するとき

- 操作スイッチを押している手や腕が車両との間に挟まれないように注意してください。

リモコン スイッチ

離れた場所からシート リフト操作をすることができます。

▼操作を行う前に

⚠警告

- 植込み型心臓ペース メーカー、および植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、電波による影響について、医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。
  電波により、医療用電気機器の作動に影響をあたえるおそれがあります。

⚠注意

- リモコン スイッチを使用してシート リフトの操作を行うときも、周囲の安全を確認し、必ず介添えの方が乗降者を補助してください。
- 乗降者の頭、腕、足などが車両に挟まれていないことを確認できる位置で操作してください。
- 故障の原因となりますので、断続的に上昇、または下降ボタンを押さないでください。
  断続的にボタンを押してもシート リフトは作動しません。ボタンは、押し続けてください。

シート リフト

⚠注意

- ボタンの切り替え操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。瞬時に切り替え操作を行うと、シート リフトが故障するおそれがあります。
- リモコン スイッチは電子部品です。故障の原因となりますので、下記の事項を必ず守ってください。
  - リモコン スイッチをダッシュ ボードの上など、直射日光の当たる場所および、高温になるところに置かないでください。
  - 分解しないでください。
  - 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
  - 水にぬらさないでください。水たまりなど、水中に落下させると故障の原因となります。
- リモコン スイッチの清掃にシンナー、ベンジン、ガソリンなどの溶剤を使用しないでください。表面が変形するおそれがあります。清掃するときは、水または、ぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってから、ふいてください。

アドバイス

- リモコン スイッチは、周囲の状況により作動範囲が変わることがあります。
- 周囲の電波状況により下降、または上昇ボタンを押してもシート リフトがまれに停止したり、作動しない場合があります。この場合は、立つ位置を変えてリモコン スイッチを押し直してください。押し続けたまま立つ位置を変えても、シートは作動しません。

アドバイス

- 助手席側ガラスに金属を含有するウインド フィルムや、その他の金属物（ダイハツ純正品以外のアンテナなど）を貼り付けると、受信機への電波がさえぎられて受信感度が低下し、作動範囲が短くなるおそれがあります。
- リモコン スイッチは、持ち運びできるので紛失しないように、ご注意ください。
- リモコン スイッチを紛失し、新たにお買い求めの場合は、最寄りのダイハツ サービス工場にご相談ください。

電池について

- 電池寿命は約 1 年間です。（1 回の操作時間を 30 秒、1 日の操作回数を 20 回で計算した場合）電池寿命は実際の使用状況によって変わります。
- リモコン スイッチを操作してもシート リフトが作動しない場合や、著しく作動距離が短くなった場合、または動作表示ランプが暗くなったり、点灯・点滅しなくなった場合は電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。

（電池交換→ 18 ページ）

- 電池の交換をしてもシート リフトが作動しない場合は、ヒューズ切れが考えられます。点検してください。

（ヒューズの点検と交換→ 43 ページ ）

シート リフト

アドバイス

リモコン スイッチの交換について

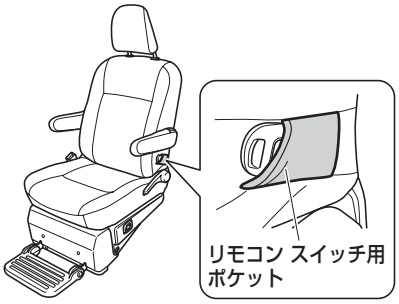
- リモコン スイッチを交換するときは、IDコードを登録する必要がありますので、最寄りのダイハツ サービス工場にご相談ください。

航空機に乗るときは

- 航空機にリモコン スイッチを持ち込む場合は、航空機内でリモコン スイッチのボタンを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

リモコン スイッチ用ポケット

リモコン スイッチは、シート リフトのポケットに収納できます。



リモコン スイッチの使いかた

▼操作方法

“電源”ボタンを押して使用します。

- シートを下降させるときは、“下降”ボタンを押し続けます。
- シートを上昇させるときは、“上昇”ボタンを押し続けます。

ボタンから指を離すと、その位置で止まります。

アドバイス

- 断続的にボタンを押したり、複数のボタンを同時に押すと、シート リフトは作動しません。
- リモコン スイッチは電池の消耗を防ぐため、一定時間操作が行われないと、自動的に電源が切れます。続けて操作するときは、もう一度“電源”ボタンを押してから操作してください。
- リモコン スイッチの電源を入れると、動作表示ランプが赤色に点灯します。
  リモコン スイッチでシート リフトを操作しているときは、動作表示ランプが緑色に点滅します。

シート リフト

電池交換

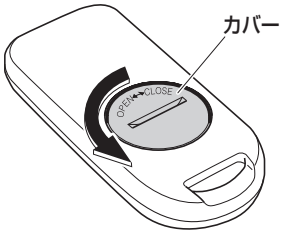
リモコン操作ができなくなった場合は、
電池の消耗が考えられます。
電池は、お客様自身で交換できます。

▼使用電池について

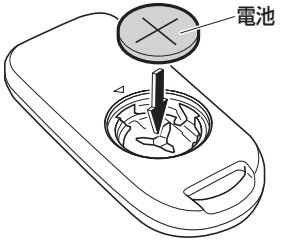
使用電池は「CR2032 (3V)」です。

▼交換方法

1. コインなどを利用して、本体裏面のカバーをはずします。



2. 電池を取り出し、新しい電池と交換します。



⚠注意

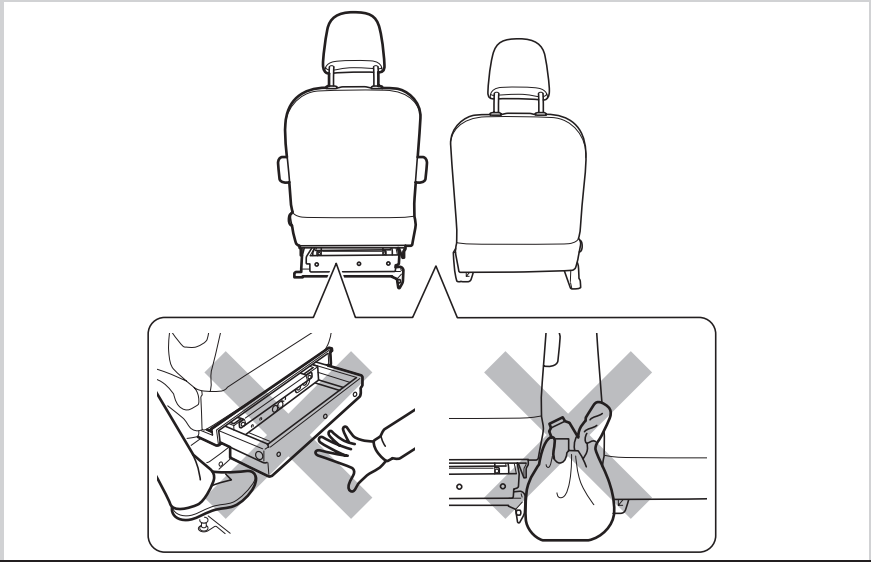
- 取り出した電池はお子さまが飲み込まないようにご注意ください。

シート リフト

シート リフトの使いかた

⚠警告

- 走行する前に助手席シート ベルトを着用し、半ドア警告灯が消灯してすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。
  助手席シート ベルトを着用せずに半ドア状態のままで操作スイッチを操作するとシート リフトが動き、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 運転席とシート リフトの間、シートの動く部分や作動範囲周辺に手足など体の一部を近づけたり、荷物などを置いたりしないでください。手足など体の一部を挟まれてけがをしたり、シートや荷物が破損するおそれがあります。



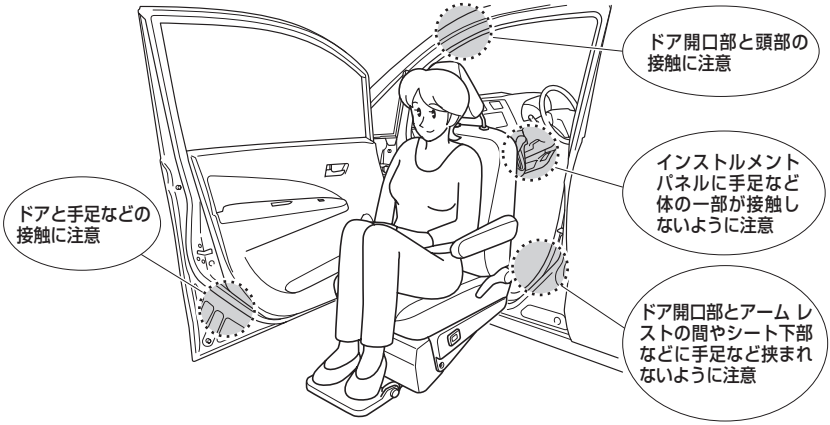
⚠注意

- シート リフトは、シフト レバーがⓅレンジ以外では作動しません。必ず駐車ブレーキを確実にかけ、シフト レバーをⓅレンジに入れて、エンジンを停止させてください。

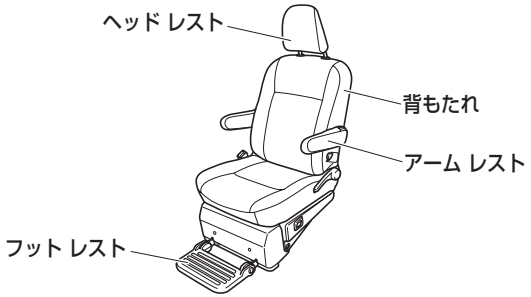
シート リフト

⚠注意

- シート リフトを操作するときは、乗降者の頭や手足など体の一部がドア開口部やインストルメント パネルなどに当らないように注意してください。



- シート リフトは必ず背もたれを直立状態にしてヘッド レストを取り付け、左右アーム レストおよびフット レストを一番下げた位置にしてください。また、必要に応じて、乗降者の体を補助した状態で操作を行ってください。

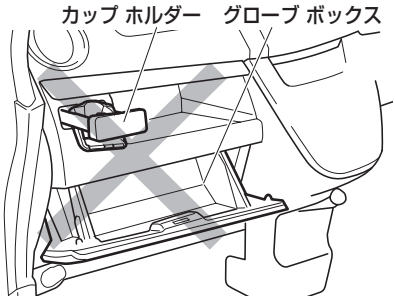


シート リフト

⚠注意

- 助手席側のドアを必ず開口限度まで開けて、シートおよび乗降者の体がドアなどに接触しないようにしてください。シートおよび乗降者の体がドアなどに接触したときは、すぐに操作スイッチから指を離し、操作を止めてください。

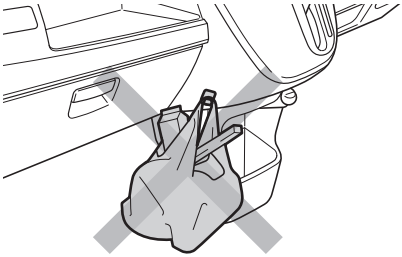
- シート リフトの下降位置周辺に障害物がないことを確認してください。シートを操作するときに障害物に当たり、シートが破損するおそれがあります。
- グローブ ボックスと助手席カップ ホルダーを必ず閉めておいてください。開けたまま操作すると、乗降者が手足を挟んでけがをしたり、シートがグローブ ボックスと助手席カップ ホルダーに当たって破損するおそれがあります。



シート リフト

⚠注意

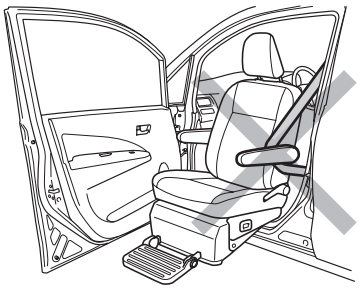
• ショッピング フックを使用しないでください。シートが回転するときに、乗降者に当ってけがをしたり、荷物が損傷するおそれがあります。



• サン バイザーを格納してください。サン バイザーに頭やヘッド レストを当てるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

助手席シート ベルトについて

- シート リフト乗員がシート ベルトを装着したままではシート リフトは作動しません。必ずシート ベルトを外してから操作してください。
- シート リフトを操作するときは、助手席シート ベルトが確実に外してあること、およびシート ベルトがアーム レストに引っ掛かっていないことを確認してください。シート ベルトがアーム レストに引っ掛かったままシートを操作すると、シート ベルトが体に掛かってけがをしたり、シートが破損するおそれがあります。



- シート リフトを操作する前に、助手席シート ベルトが完全に巻き取られていることを確認してください。完全に巻き取られていない状態でシートを操作すると、シート ベルトを巻き込んでシートが破損するおそれがあります。

アドバイス

挟み込み防止機能について

- 挟み込み防止機能は、シート リフト乗降者のけが防止やシート リフト損傷の軽減を目的とした機能です。
  下記の状態を確認して、シート リフトを操作してください。
  - シート リフトが回転中、障害物に当たるなどして作動がさまたげられると警告ブザー（「ピー」という音）が鳴り、シートは少し反転してから停止します。この場合、乗員の手足などが車両に当たっていないことを確認し、障害物を取り除くなどしてください。
  - シート リフトに異常が発生して上昇はするが下降しなくなったときは、異常状態を解除させるためにシートを車内に戻して、シート セットを完了させてください。

（上昇するが下降しないとき→ 31 ページ ）

▼スイッチ操作について

⚠注意

- 故障の原因となりますので、断続的に操作スイッチの上昇ボタン、または下降ボタンを押さないでください。
  断続的にボタンを押してもシート リフトは作動しません。ボタンは、押し続けてください。

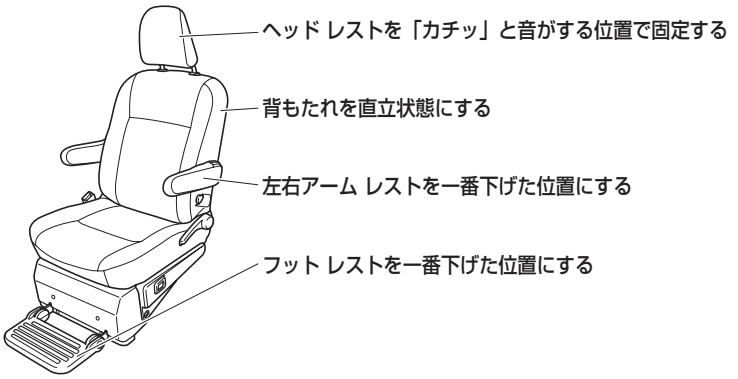
アドバイス

- シート リフトの回転、昇降は連続して操作することができます。昇降の切り替え操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。
- 途中で回転、昇降を停止させるときは、操作スイッチから指を離すと、その位置で停止します。

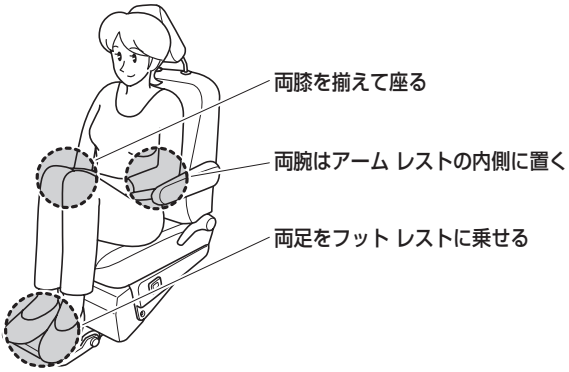
シート リフト

シートを操作する前に

1. 駐車ブレーキをかけ、シフト レバーをPレンジに入れて、エンジンを停止させます。
2. 助手席側ドアを全開にします。
3. 乗降できる状態にシートを調整します。



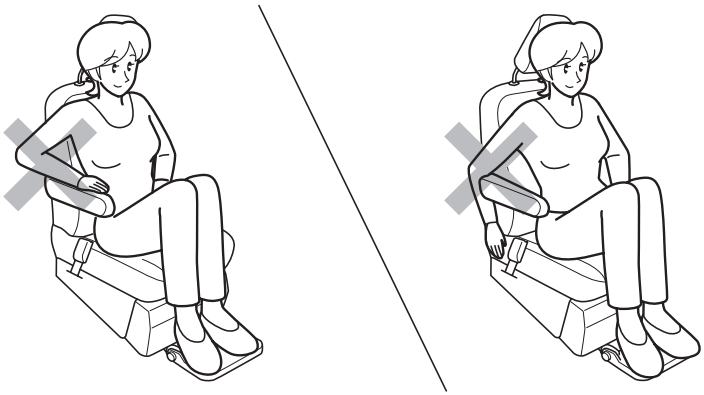
4. 乗降者を正しい姿勢でシートに乗せます。



シート リフト

⚠注意

- 乗降者の両腕は、必ず左右アーム レストより内側においてください。
  両腕が外側に出ていると、車両やドアなどに腕を挟むなどして、思わぬけがをするおそれがあります。



- 乗降者の足が開脚状態で回転させると、ひざが車両に当たるおそれがあります。両ひざを揃えてお座りください。

- シート リフトを操作するときは介添えの方が乗降者を補助しながら操作してください。

アドバイス

- 両足をフット レストに乗せることができないときは、介添えの方が支えてください。

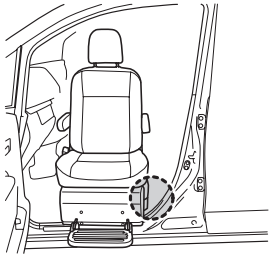
シート リフト

シートを車外に出すとき

⚠注意

操作スイッチでシート リフトを操作するとき

- 操作スイッチを押している手や腕が車両との間に挟まれないように注意してください。



アドバイス

- シート リフトが回転している途中で助手席側ドアを閉めないでください。警告ブザー（「ピピピ」という断続音）が鳴り、シートは停止します。

1. 車両とシートの状態、乗降者の姿勢を確認します。

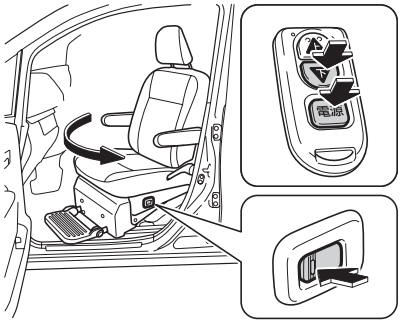
（シートを操作する前に → 24 ページ）

2. 乗降者のシート ベルトを外します。

⚠注意

- シート リフト乗員がシート ベルトを装着したままではシート リフトは作動しません。必ずシート ベルトを外してから操作してください。

3. 操作スイッチの前側（またはリモコン スイッチの電源を入れ、下降ボタン）を押し続けて、シートを車外側に約 90° 回転させます。

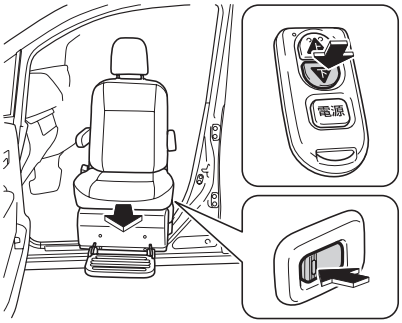


アドバイス

- 操作スイッチから指を離すと、シート リフトはその位置で止まります。再度スイッチを押すと、シートが再作動します。

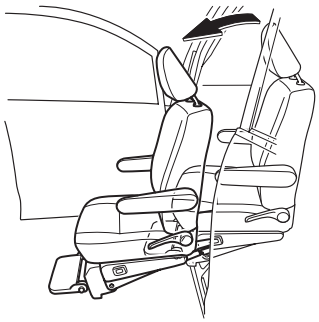
シート リフト

4. 操作スイッチ（またはリモコン スイッチ）を押し続けて、シートを車外側に下降させます。



アドバイス

- シート リフト下降時にシート全体が前に傾き、乗降がしやすくなります。



5. 下降限度になるとブザーが鳴りますので、操作スイッチ（またはリモコン スイッチ）から指を離します。

⚠注意

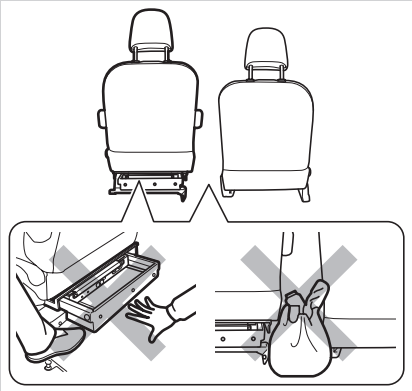
- シート リフト下降中は、障害物などに当たっても、操作スイッチの前側を押している間、シートは止まりません。異常を感じたらすぐに指を離して操作を停止してください。手足を挟んでけがをしたり、シートが破損するおそれがあります。

シート リフト

シートを車内に戻すとき

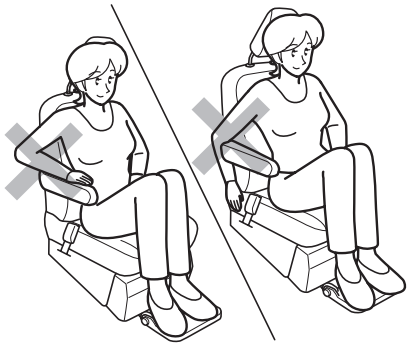
⚠警告

- 運転席とシート リフトの間、シートの動く部分や作動範囲周辺に手足など体の一部を近づけたり、荷物などを置いたりしないでください。手足など体の一部を挟まれてけがをしたり、シートや荷物が破損するおそれがあります。

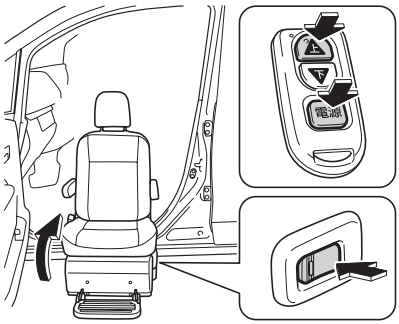


⚠注意

- 乗降者の両腕は、必ず左右アーム レストより内側においてください。
  両腕が外側に出ていると、車両やドアなどに腕を挟むなどして、思わぬけがをするおそれがあります。



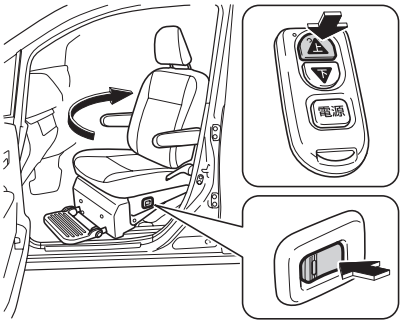
1. 車両とシートの状態、乗降者の姿勢を確認します。
   （シートを操作する前に → 24 ページ）
2. 操作スイッチの後側（またはリモコン スイッチの電源を入れ、上昇ボタン）を押し続けて、シートを車内側に上昇させます。



⚠注意

- シート リフト上昇中は、障害物などに当たっても、操作スイッチの後側を押している間、シートは止まりません。異常を感じたらすぐに指を離して操作を停止してください。手足を挟んでけがをしたり、シートが破損するおそれがあります。

3. さらに操作スイッチ（またはリモコン スイッチ）を押し続けて、シートを車内側に約 90° 回転させます。



4. シート リフトのシート セットが完了するとブザーが鳴りますので、操作スイッチ（またはリモコン スイッチ）から指を離します。

5. シートを軽くゆすり、確実に固定されたことを確認してください。
6. 助手席側ドアを閉めます。

⚠注意

- **助手席側ドアとアーム レストの間に腕を挟まれないように注意してください。**
- **助手席側ドアを閉めたときに、警告ブザー（「ピピピ」という断続音）が鳴るときは、シートが確実に固定されていません。操作スイッチの後側を押し続けて、シート セットを完了してください。**
  シートが確実に固定されていないと、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

シート リフト

非常時の収納方法

操作スイッチを押してもシート リフトが動かないときは、ヒューズを点検・交換してください。

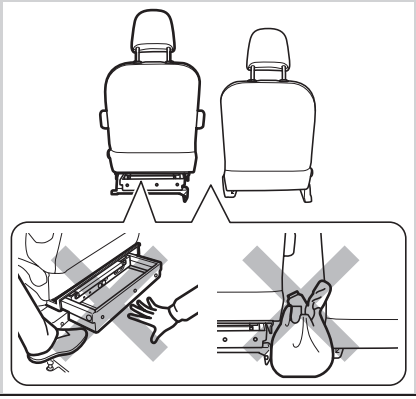
（ヒューズの点検と交換→ 43 ページ）

万一、シート リフトが下降中、または上昇中に動かなくなってしまったときは、ドアを閉めることができませんので、以下の方法で車内に収納してください。

- 操作スイッチの後側（上昇）は作動するが、前側（下降）が作動しないとき
  （上昇するが下降しないとき→ 31 ページ）
- 操作スイッチを押しても、シート リフトが動かないとき
  （スイッチを押してもシートが動かないとき→ 32 ページ）

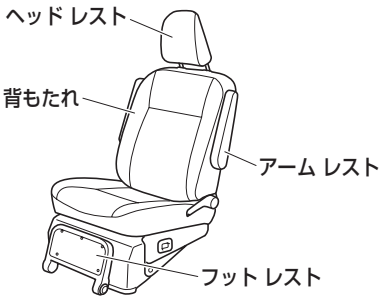
⚠警告

- 運転席とシート リフトの間、シートの動く部分や作動範囲周辺に手足など体の一部を近づけたり、荷物などを置いたりしないでください。手足など体の一部を挟まれてけがをしたり、シートや荷物が破損するおそれがあります。



⚠注意

- シート リフトは、シフト レバーがPレンジ以外では作動しません。必ず駐車ブレーキを確実にかけ、シフト レバーをPレンジに入れて、エンジンを停止させてください。
- シート リフトに座っている乗員がいる場合は、乗員を安全な場所へ移動させてから作業を行ってください。
- 非常時にシート リフトを車内へ収納するときは、必ずシートの背もたれを直立状態にして、ヘッド レストを一番下げた位置にしてください。
  また、左右アーム レストとフット レストは一番上げた位置にしてください。



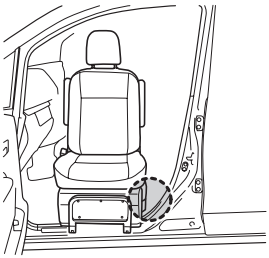
上昇するが下降しないとき

シート リフトに異常が発生して、上昇はするが下降しなくなったときは、異常を解除させるために、下記の方法でシートセットを完了させてください。
下降操作が可能になります。

⚠注意

操作スイッチでシート リフトを操作するとき

- **操作スイッチを押している手や腕が車両との間に挟まれないように注意してください。**

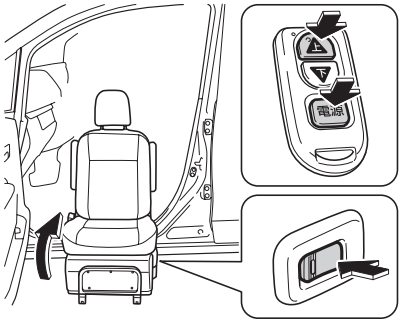


アドバイス

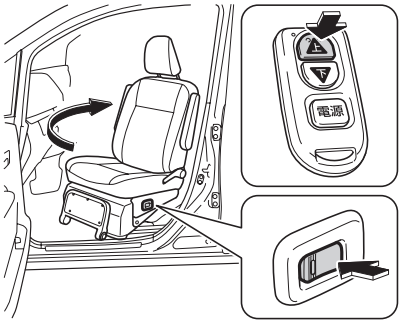
- **シート リフトに異常があるときは、操作スイッチの前側を押すと警告ブザー（「ピピピ」という断続音）が鳴ります。**

▼操作方法

1. 駐車ブレーキがかかっていることと、シフト レバーがⓅレンジの位置で、エンジンが停止していることを確認します。
2. 助手席側ドアが全開になっていることを確認します。
3. 操作スイッチの後側（またはリモコン スイッチの電源を入れ、上昇ボタン）を押し続けて、シートを車内側に上昇させます。



4. さらに操作スイッチ（またはリモコン スイッチ）を押し続けて、シートを車内側に約 90° 回転させます。



5. シートを車内に戻して、さらに操作スイッチ（またはリモコン スイッチ）を押し続けると、シート セットが完了されて、ブザーが鳴りますので、操作スイッチ（またはリモコンスイッチ）から指を離します。

シート リフト

スイッチを押しても シートが動かないとき

操作スイッチを押してもシート リフトが動かないときは、下記の手順でシートを手動で車内に戻し、ただちにダイハツ サービス工場で点検を受けてください。

⚠警告

- シート リフトを手動で車内に収納したあとは、シートに人や物をのせないでください。シートが完全に固定されていないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- ボルト脱着作業中に指先や手などをけがしないように十分注意してください。
- シートを手動で車内に戻す際には、シート可動部に手などを挟まないように十分注意してください。
- 部品を取り外したときは、取り外した部品を紛失しないように注意してください。

アドバイス

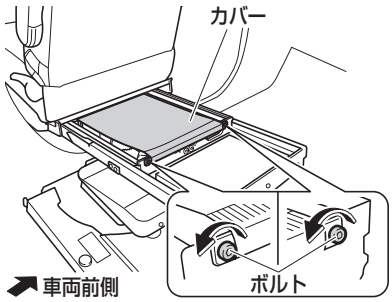
- 操作スイッチを押すとブザーが鳴り、シート リフトがかすかに動くときもあります。

▼収納方法

1. 駐車ブレーキがかかっていることと、シフト レバーがⓅレンジの位置で、エンジンが停止していることを確認します。
2. 助手席側ドアが全開になっていることを確認します。
3. グローブ ボックスからフロント シート リフト非常用工具の六角レンチとアダプターを取り出します。

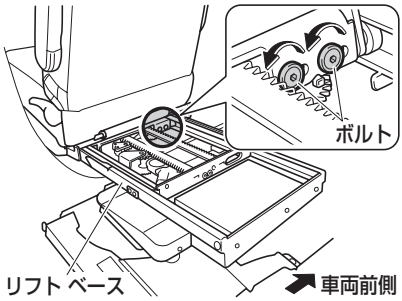
（非常用工具→ 42 ページ）

4. シート後側にあるカバーのボルト（2本）を六角レンチで反時計回りにゆるめて取り外し、カバーをめくります。

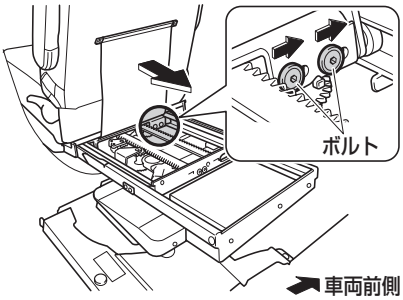


5. リフト ベース内にあるボルト（2本）を六角レンチで反時計回りにゆるめます。

- ボルトは約 4.5 回転回します。



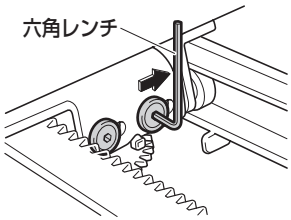
6. ゆるめたボルトを車両前側にいっぱいまでスライドさせて、手動でシートを少し上昇させ、ギヤのかみ合わせを外します。



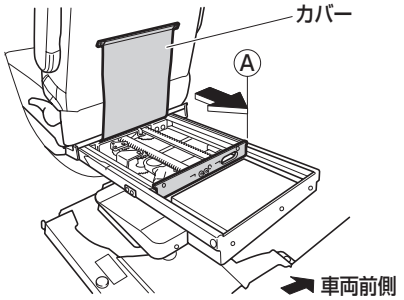
アドバイス

ボルトのスライド操作について

- どちらか片方のボルトをスライドさせると 2 本同時にスライドします。
- 六角レンチをボルトに取り付けた状態で操作すると、スライドさせやすくなります。



7. カバーを巻き込まないように手で押さえながら、Ⓐの位置まで手動でシートを上昇させて、車内側へ戻します。



⚠注意

シート リフトを上昇させるときは

- シート リフトが自重で下がらないように、シートを手で保持しながら操作をしてください。シートが急に下降して、けがをするおそれがあります。
- シート リフトはカバーをシート下に格納しながら上昇しますので、指や手を巻き込まないように注意してください。

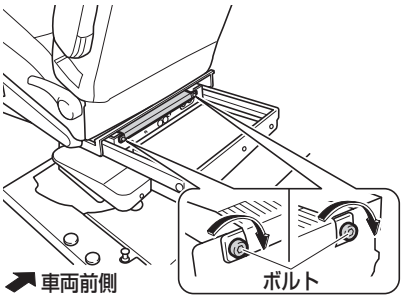
アドバイス

車内側へ戻しているときに途中で止まったときは

- 再度、ボルトを車両前側にいっぱいまでスライドさせ、ギヤのかみ合わせを外してください。

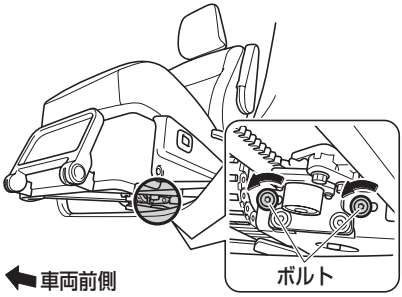
シート リフト

8. 取り外したカバーのボルトを手で止まる位置まで時計回りに締めつけ、カバーを固定します。



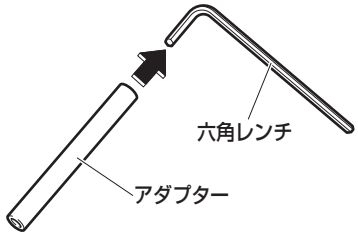
9. シート底面にあるボルト（2本）を六角レンチで反時計回りにゆるめます。

- ボルトは約1回転回します。

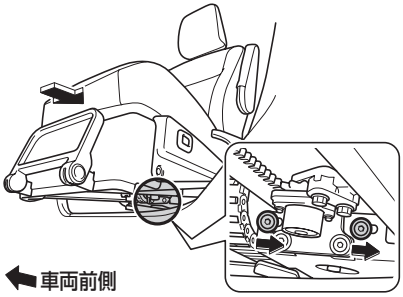


アドバイス

- シート底面にあるボルトをゆるめるときは、六角レンチにアダプターを差し込んで使用してください。



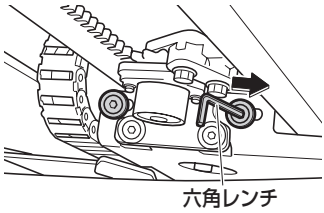
10. ゆるめたボルトを車両後側にいっぱいまでスライドさせて、手動でシートを少し上昇させ、ギヤのかみ合わせを外します。



アドバイス

ボルトのスライド操作について

- どちらか片方のボルトをスライドさせると 2 本同時にスライドします。
- 六角レンチをボルトに取り付けた状態で操作すると、スライドさせやすくなります。



11. シートを止まる位置いっぱいまで手動で上昇させて、車内側へ確実に戻します。

⚠注意

シート リフトを上昇させるときは

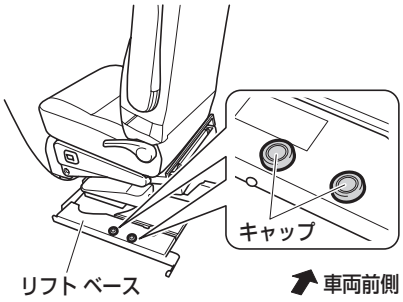
- シート リフトが自重で下がらないように、シートを手で保持しながら操作をしてください。シートが急に下降して、けがをするおそれがあります。
- 指や手を挟まないよう十分注意しながら車内側へ戻してください。

アドバイス

車内側へ戻しているときに途中で止まったときは

- 再度、ボルトを車両後側にいっぱいまでスライドさせ、ギヤのかみ合わせを外してください。

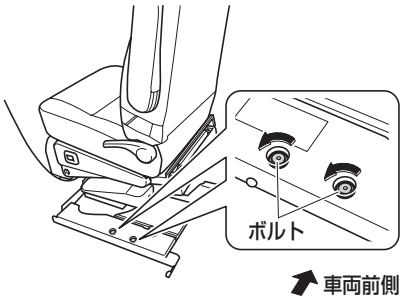
12. リフト ベースの車両後側キャップ（2 カ所）を外します。



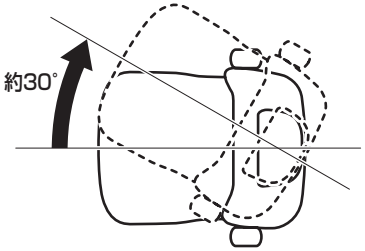
シート リフト

13. 六角レンチでボルト（2 本）を反時計回りにゆるめます。

- ボルトは約 1.5 回転回します。



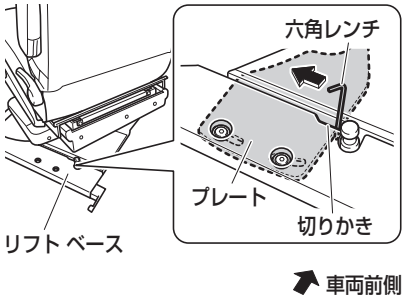
14. シートを手動でゆっくりと車内側に約 30° 回転させます。



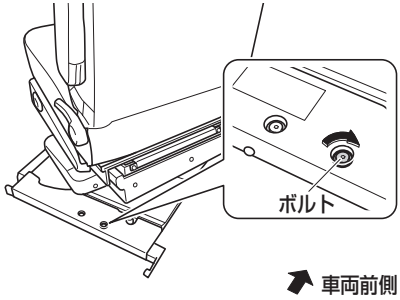
アドバイス

- シート リフトが車内へ回転しないときは、再度、ボルトをゆるめ、ギヤのかみ合わせを外してください。

15. リフト ベースの車両後側にある切りかきに六角レンチを上から差し込んで、内部にあるプレートを左にいっぱいまでスライドさせます。



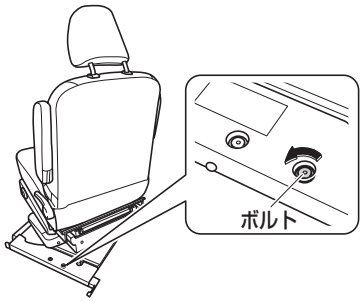
16. ボルトを 1 本だけ時計回りに締めつけて固定します。



17. いったんシートを車外側（格納方向と逆）に押して、少し回転させます。

- シートが回転する幅は、シート後部で約 10mm程度です。

18. 手順 16. で締めつけたボルト 1 本を反時計回りにもう一度ゆるめます。



19. シートを「カチッ」と音がする位置まで手動で車内側に回転させます。

20. シートを軽くゆすり、固定されたことを確認します。

⚠注意

- **シート リフト収納後は、必ずシートを軽くゆすり、確実に固定されたことを確認してください。**
  シートが固定されていないと走行中にシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- **シート リフトが固定されない場合は、いったんシートを車外側へ回転させ、再度「カチッ」と音がする位置まで車内側に回転させてください。**
  それでも固定されない場合は、手順 11. からやり直してください。

21. リフト ベースの車両後側キャップ（2 カ所）を取り付けます。

22. 助手席側ドアを閉めます。

⚠注意

- **シート リフトを手動で車内に収納したあとは、ただちにダイハツ サービス工場で点検を受けてください。**
- **点検・修理が完了するまでは、シート リフトに座らないでください。**

シート リフト

チャイルド シートの取り付け

- シート リフトには、チャイルド シートを取り付けないでください。
- チャイルド シートは、リヤ シート左右席に取り付けることができます。
  チャイルド シートの選びかた、および固定のしかたについては、標準車の取扱説明書（別冊）をご参照ください。
- チャイルド シートを取り付ける際には、以下のことを必ず守ってください。

⚠警告

シート リフトを操作するときは

- シート リフトを操作するときはリヤ シートにチャイルド シートを取り付けないでください。シート リフトが回転する際に、手や足などを挟んでけがをしたり、チャイルド シートにシート リフトが当たって損傷したりするおそれがあります。

チャイルド シートについて

- チャイルド シートは様々なタイプの物があります。取り付け要領はタイプにより異なりますので、必ず十分に確認したうえで取り付けを行ってください。万一のとき、チャイルド シートが外れ、重大な事故につながるおそれがあります。
  また、取り付け可能なチャイルド シートについては、ダイハツ サービス工場にご相談ください。

車いすの収納

車いすの収納について

▼操作を行う前に

⚠注意

- 各部の操作および車いすの出し入れはけがなどをしないよう慎重に行ってください。
- 平坦地に停車して、収納してください。坂道や平坦でない道路などでの収納は、車いすが不安定になり大変危険です。
- 介添えの方は、必ず駐車ブレーキをかけた状態を確認し、シフト レバーをⓅレンジに入れて、エンジンを停止させて収納してください。また、車両周辺の交通に十分注意して収納してください。

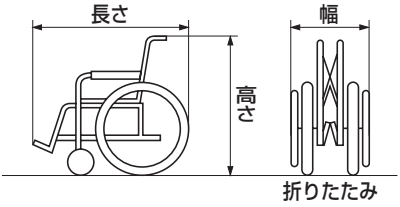
アドバイス

- 車いすの形状またはタイヤ サイズによっては、収納ができないことがあります。確実に固定されない場合は、収納をしないでください。

収納できる車いすの寸法（折りたたみ時）

リヤ シートの背もたれを起こし、前側にスライドさせた状態で収納できる車いすの寸法です。

長さ：1,080mm以下
幅　：　380mm以下
高さ：　870mm以下



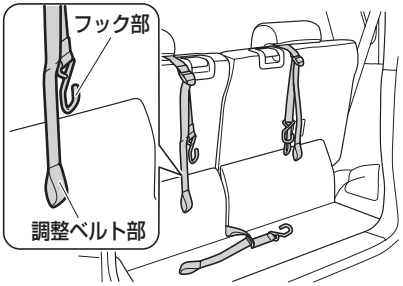
アドバイス

- リヤ シートを前側にスライドした場合、車いすの収納スペースは広くなりますが、後席の足元スペースが狭くなります。

車いすの収納

車いす固縛ベルト

収納した車いすを固定するベルトです。
（3本）



⚠注意

- 車いす固縛ベルトは、車いすの補助的な固縛ベルトです。使用中にゆるみや外れがないことを確認してください。

車いす収納方法

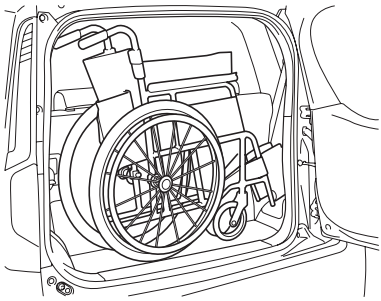
▼収納手順

1. リヤ シートの背もたれを起こします。

⚠注意

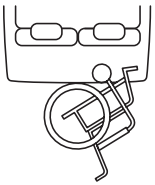
- リヤ シートの背もたれが確実に固定されていることを確認してください。

2. 車いすを折りたたみ、ラゲージ ルームに乗せます。

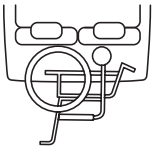


アドバイス

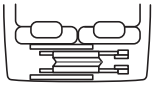
- 下図のように、車いすの前輪を荷室内の右側に入れてから、後輪を入れ、車いすを起こしながら、荷室内に入れると、収納しやすくなります。



①車いすの前輪を荷室内の右側に入れます。

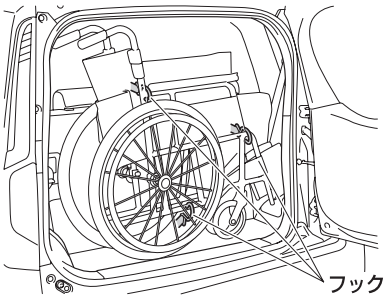


②車いすの後輪を荷室内の左側に入れます。

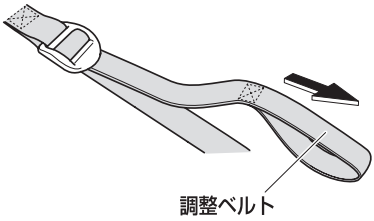


③車いすを起こしながら、荷室内に入れます。

3. 車いす固縛ベルトのフックを車いすのフレームに引っかけます。



4. 調整ベルトを引き、車いすを確実に固定します。（3本とも）

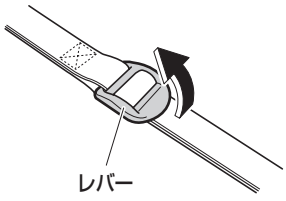


⚠注意

- 車いすをリヤ シートの背面に押さえつけるようにして、確実に固定してください。固定されていないと、走行中に車いすが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

▼車いすを取り出すときは

1. 車いす固縛ベルトのレバーを引き上げてベルトをゆるめます。

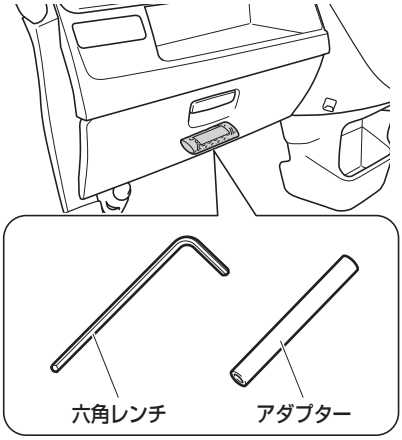


2. 収納時の逆の手順で車いすを取り出します。

非常用工具

収納場所

フロント シート リフト非常用工具はグローブ ボックス内にあります。



アドバイス

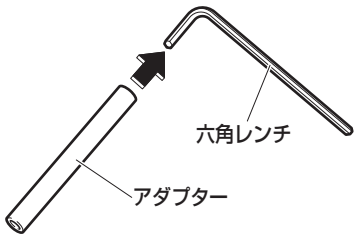
- 非常用工具を使用したあとは、もとの包装材でつつみ直してグローブ ボックス内に収納してください。

○非常用工具

シート リフトに異常が発生して、動かなくなった場合、手動でシートを車内へ格納するときなどに使用します。

アドバイス

- シート リフトの下など、狭い場所を操作するときは、六角レンチにアダプターを差し込んで使用してください。



ヒューズの点検と交換

ヒューズの点検と交換

ヒューズの位置

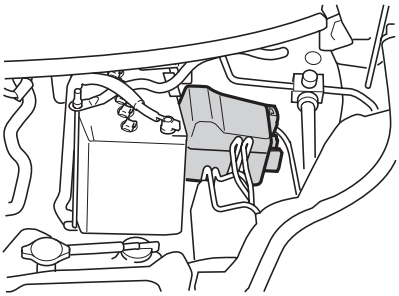
シート リフトが動かなくなった場合は、ヒューズ切れが考えられます。点検、交換を行ってください。ヒューズについてはダイハツ サービス工場にご相談ください。

⚠注意

- 交換してもすぐに切れてしまうときは、ダイハツ サービス工場で点検を受けてください。
- 規定容量以外のヒューズを使用しないでください。配線が過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

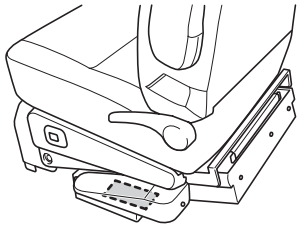
○エンジン ルーム ヒューズ ボックス

エンジン ルーム内にあります。



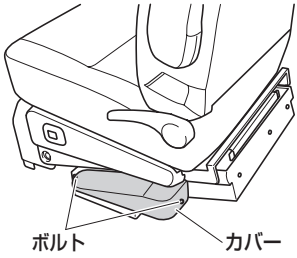
○シート リフト本体ヒューズ

シート下のリフト ベース側面にあります。



▼カバーの取り外しかた

1. エンジン スイッチを“OFF”にします。
2. グローブ ボックスからフロント シート リフト非常用工具の六角レンチを取り出します。
（非常用工具→ 42 ページ）
3. カバーのボルト（２本）を六角レンチで反時計回りにゆるめて取り外し、カバーを取り外します。



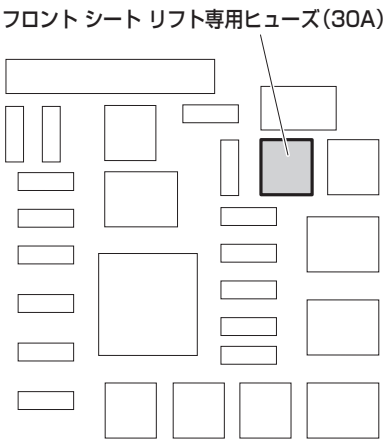
▼カバーの取り付けかた

取り外すときと逆の手順で行います。

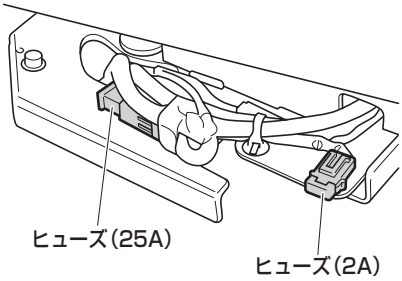
ヒューズの点検と交換

ヒューズ ボックス

○エンジン ルーム ヒューズ ボックス
ヒューズ ボックスのカバーに各ヒューズのアンペア数と受け持つ装置の名称を表示しています。

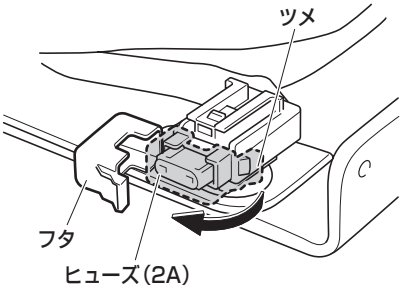


○シート リフト本体ヒューズ
シート下のリフト ベース側面にシートリフト本体ヒューズ(2A、25A)があります。



アドバイス

- ヒューズ(2A)は、フタを開けないと点検できません。
  ツメを起こして、矢印の方向へ開きます。



MEMO

MEMO

定期点検整備

定期点検整備

定期点検整備

車の点検・お手入れ

- 故障を減らして長く大切に使うために定期点検整備をお願いします。
- 点検結果を記録する際には、記録簿をコピーしてご使用ください。

点検整備項目		点検時期			交換時期（年）	備考	
		日常使用者点検	自家用車 12か月ごと	自家用車 24か月ごと			
リフト部	・回転作動	○		○			スムーズさ
	・スライド（昇降）作動	○		○			スムーズさ
	・ローラー部		○	○			スムーズさ
	・ロック状態	○		○			ガタ（異音）がないこと
	・給油脂状態（リフトレール、ギヤ部グリースアップ）			○		※	ガタ（異音）がないこと
	・スイッチ作動	○		○			引っかかりがないこと
	・非常用工具の搭載	○		○			

※印部グリースアップは異音やリフトのガタ付きが発生した時には随時注油ください。

定期点検整備記録簿

分解整備記録簿

該当なし	/	異常なし	✓	交換	×	締付	T	清掃	C
調整	A	修理	△	分解	○	給油	L	省略	P

点検の結果および整備の概要

■シート リフトの点検

《リフト部》

- [ ] ・回転作動
- [ ] ・スライド（昇降）作動
- [ ] ・ローラー部
- [ ] ・ロック状態
- [ ] ・給油脂状態
- [ ] ・スイッチ作動
- [ ] ・非常用工具の搭載

■その他必要となった点検整備の内容および主な交換部品

型　式	
架装物名	シート リフト
車体 No.	
お客様の業種・積載物	架装メーカー名

依頼者の氏名または名称及び住所

氏名または名称

住所

メンテナンスに関するアドバイス

型　式	初年度登録または初年度検査年

自動車登録番号または車両番号(左記の無い車両にあっては、車台番号)

自動車分解整備事業者の氏名または名称および事業場の所在地

氏名または名称

事業場の所在地

認証または指定番号	点検の年月日
	年　月　日

点検時の総走行距離	整備を完了した年月日
km	年　月　日

整備主任者の氏名

MEMO

さくいん

ア

アーム レスト ---------- 14

オ

折りたたみ式フット レスト ---------- 14

カ

各部の名称---------- 12

ク

車いす固縛ベルト ---------- 40
車いす収納方法---------- 40
車いすの収納について ---------- 39

コ

工具---------- 42
工具の収納場所---------- 42

シ

シート リフト ---------- 8
シート リフト操作スイッチ ---------- 15
シート リフトの使いかた---------- 19
シートを操作する前に---------- 24
シートを車外に出すとき ---------- 26
シートを車内に戻すとき ---------- 28
収納できる車いすの寸法---------- 39

チ

チャイルド シートの取り付け-------- 38

テ

点検 ---------- 48

ヒ

非常時の収納方法---------- 30
上昇するが下降しないとき ---------- 31
スイッチを押しても
シートが動かないとき ---------- 32
非常用工具---------- 42
ヒューズの点検と交換---------- 43
ヒューズ ボックス---------- 44

フ

フット レスト ---------- 14

ヘ

ヘッド レストの調整---------- 13

リ

リクライニング調整 ---------- 13
リモコン スイッチ ---------- 15
電池交換---------- 18

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

ご相談、ご意見はご購入いただいた
販売会社にお問い合わせください。

お問い合わせ先は別冊「メンテナンス ノート」の
「ダイハツ サービス網」をご覧ください。

お問い合わせには、あらかじめ下記の事項
について確認のうえ、ご連絡願います。

⑴車名および型式、登録番号
⑵ご購入年月日
⑶走行距離
⑷お客様のご住所、お名前、電話番号

ダイハツ工業株式会社　お客様相談室

フリー コール　フリーコール 0800-500-0182
受付時間　平日　9:00～19:00
　　土日祝 9:00～17:00
〒563-8651　大阪府池田市ダイハツ町1番1号

弊社におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、ダイハツ工業株式会社ホームページにて掲載しております。（http://www.daihatsu.co.jp/privacy/index.htm）

●印刷＝2013年3月19日　●発行＝2013年3月25日<非売品>
●編集＝ダイハツ工業株式会社　サービス部
●発行＝ダイハツ工業株式会社

130325-1

01999-B2279

シートベルトを締めましょう

ダイハツ工業株式会社

車両の仕様などの変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください